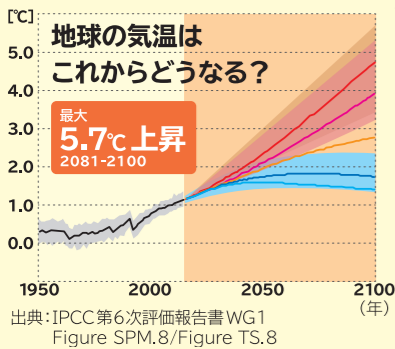


Q2 地球の気温はこれからどうなるの？

二酸化炭素をはじめとした温室効果ガスをこのまま排出し続けると、2100年には世界の平均気温が、1850~1900年を基準として最大5.7℃上昇すると予測されています。



Q1 地球温暖化でどんな影響が出ているの？

台風や豪雨によって洪水や土砂災害が起きたり、海面の水位が上昇して高潮や高波が発生したり、高温による農産物の生育不良や品質低下などが心配されています。



豪雨により増水した馬淵川 (令和4年8月)

高温によるリンゴの着色不良

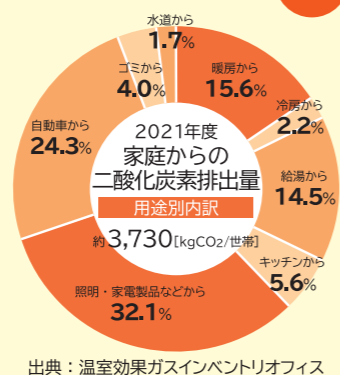


Q&A

Q4 カーボンニュートラルってなに？

温室効果ガスの排出量を「全体としてゼロ」にすることです。排出量と同じ量を「吸収」するか「除去」すれば差し引きゼロになるため、これを目指して対策に取り組んでいます。二酸化炭素だけでなく、メタン、一酸化二窒素、フロンガスを含む「温室効果ガス」が対象となっています。

Q3 二酸化炭素が排出される原因は？



日本の家庭から排出される二酸化炭素排出量を見てみると、多くを占めるのは照明や家電製品、自動車によるものです。全国と比べて岩手は、暖房や自動車からの排出量が多くなっています。

岩手県は再生可能エネルギー王国 /

太陽光

特に沿岸南部などは日照条件が良く、太陽光発電に適した地域。一般住宅用から事業用まで広く導入が進んでいます。

水力

水資源が豊富な岩手。県営17カ所をはじめ、県内に50カ所以上の水力発電があり、再生可能エネルギーの中で最も多く発電しています。

バイオマス

木材、牛や豚などのふん尿、生ゴミなど、化石燃料以外の動植物に由来するバイオマス。県土の約8割が森林のため、木質バイオマスは持続可能なエネルギー資源です。

風力

岩手県は県土が広く、安定した風に恵まれた地域が多いため、各地で風力発電の導入が進んでいます。



地熱

国内初の地熱発電所である松川地熱発電所をはじめ、葛根田地熱発電所、松尾八幡平地熱発電所、滝ノ上地熱バイナリー発電所が稼働。この4カ所の合計出力約61メガワットは、全国有数の設備規模です。

自然豊かな環境を生かして 持続可能な脱炭素社会を目指します！

自然豊かな岩手は、太陽光や水力、バイオマス、風力、地熱などを利用した再生可能エネルギーが豊富です。県はこうしたポテンシャルも生かして、2050年の温室効果ガス排出量実質ゼロを実現するため、まずは2030年

自然豊かな岩手は、太陽光や水力、バイオマス、風力、地熱などを利用した再生可能エネルギーが豊富です。県はこうしたポテンシャルも生かして、2050年の温室効果ガス排出量実質ゼロを実現するため、まずは2030年

この夏、記録的な猛暑が続いた岩手県。ここ数年は、豪雨・台風による大きな被害が相次いでいるほか、三陸沖の魚種や生態系も変化し、豊富だったサンマやサケの漁獲量も大幅に減少しました。

このような現象は、二酸化炭素(CO₂)などの温室効果ガスの増加による温暖化が影響していると言われ、県は2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにする目標を掲げ、さまざまな取り組みを進めています。

脱炭素を意識して行動することは、岩手の環境を守るだけでなく、健康や家計にもメリットがあります。皆さんもおトクに「エコ活」してみませんか。

度の排出量を、2013年度比で57%削減する目標を設定。また、同年度には再生可能エネルギーによる電力自給率66%を目指しています。全国的に見ても高い目標を掲げ、オール岩手で取り組みを進めていきます。



この夏、記録的な猛暑が続いた岩手県。ここ数年は、豪雨・台風による大きな被害が相次いでいるほか、三陸沖の魚種や生態系も変化し、豊富だったサンマやサケの漁獲量も大幅に減少しました。

このような現象は、二酸化炭素(CO₂)などの温室効果ガスの増加による温暖化が影響していると言われ、県は2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにする目標を掲げ、さまざまな取り組みを進めています。

脱炭素を意識して行動することは、岩手の環境を守るだけでなく、健康や家計にもメリットがあります。皆さんもおトクに「エコ活」してみませんか。

「特集1」脱炭素に向けた取り組み

contents

【特集1】脱炭素に向けた取り組み
まいにちエコ活しよう! p01

【しあわせレシピ】
南部一郎かぼちゃのパウンドケーキ p05

【復興キラリ】
イコウエルすみた p06

【まち・ひと・しごと 住みたい県へ!】
農林水産業を支えよう! p07

【教えて!いわて県民計画】
国際交流 p08

【わがまちにズームイン】
平泉町 p09

【ローカル線であつた旅】
IGRいわて銀河鉄道&JR山田線 p10

【特集2】新型コロナウイルス感染症対策
かかりつけ医を持ちましょう! p11

岩手県からのお知らせ p13

【NEXT STARS】
輝く岩手の若者たち!
読者アンケート&プレゼント 裏表紙

当誌に掲載されている情報は、2023年11月1日現在のものです。新型コロナウイルス感染症の拡大などの状況によっては、掲載した内容に変更が生じる場合があります。

#いわてグラフキャンペーン

X (旧Twitter)、Facebook、Instagramに「#いわてグラフ」をつけて、投稿すると岩手のいいものをプレゼント!



- 当選商品: 格之進の缶詰ハンバーグ3缶セット (株式会社門崎)
- 当選者数: 3名様
- 応募期間: 2023年12月1日(金)~2024年1月12日(金)
- 応募方法: 「#いわてグラフ」をつけて、あなたが読んでほしい・見てほしいと感じた内容をX (旧Twitter)、Facebook、Instagram、いずれかのSNSから投稿してください。投稿いただいた方の中から抽選で岩手のいいものをプレゼントします。
- 当選発表: 当選した方にはダイレクトメッセージにてお知らせします。ダイレクトメッセージを受け取れるよう設定してください。
- 商品の発送時期: 2024年2月上旬頃を予定しています。
- お問い合わせ先: 県庁広報課 019-629-5283



詳しくはこちらをご確認ください

家庭でできること

省エネというと、我慢や節約というイメージが浮かびますが、「賢くおトクにエネルギーを使う」のが省エネ生活。ちょっと工夫するだけで光熱費を削減できる、省エネに役立つヒントをご紹介します。

リビング
暖房時の室温は20℃を目安に(エアコン)
約**1,410円**おトク!
CO₂削減量 26.0kg

リビング
蛍光灯からLEDシーリングライトに交換
約**2,400円**おトク!
CO₂削減量 33.3kg

リビング
フィルターをこまめに掃除(月2回程度)
約**1,100円**おトク!
CO₂削減量 15.6kg

リビング
テレビ画面は明る過ぎないように設定
約**1,000円**おトク!
CO₂削減量 13.3kg

キッチン
冷蔵庫の設定温度を「強」から「中」に
約**2,200円**おトク!
CO₂削減量 30.2kg

キッチン
電気ポットの長時間保温はしない
約**3,800円**おトク!
CO₂削減量 52.6kg

洗面所・トイレ
歯磨きやシャワーの時は水を出しっぱなしにしない
約**15,204円**おトク!
CO₂削減量 11.0kg

洗面所・トイレ
電気便座の設定温度や洗浄水の温度を低くする
約**1,400円**おトク!
CO₂削減量 19.6kg

キッチン
炊飯器の長時間保温はせず、使わない時はプラグを抜く
約**1,600円**おトク!
CO₂削減量 22.4kg

キッチン
冷蔵庫にものを詰め込まない
約**1,500円**おトク!
CO₂削減量 21.4kg

その他
契約アンペアの見直し(50A→40A)
約**3,400円**おトク!

その他
近くに出かけるときは車を使わない
約**11,784円**おトク!
CO₂削減量 162kg

※数値は年間あたり。省エネ・節約効果は一定条件を基に試算。

家族みんなで省エネにチャレンジ!

いわてわんこ節電所

「家庭のエコチェック」に参加しよう!

県民の皆さんに日常的に省エネに取り組んでいただけるよう、「いわてわんこ節電所」というサイトを公開しています。このホームページでは、皆さんが取り組んだ省エネ行動によるCO₂削減量を、岩手県名物「わんこそば」の「わんこ」に見立てて数値を見る化。わんこが重なるほど、より多くのCO₂を減らせたことがわかるようにしています。参加方法は、月に一回「家庭のエコチェック」をするだけ。どのご家庭でも取り組みますので、一緒にチャレンジしてみましよう!

家庭のエコチェック 2023年7月～

今年度CO₂削減量 **0kg-CO₂**
電気換算**0kWh**相当
約**0**円分の年間消費電力

エコチェックスタートからの累計

CO₂削減量 **0** kg-CO₂

参加人数 **0**人

2023年10月20日現在

HOME ACTION >>>



詳しくはこちら▶

職場でできること

照明や空調を省エネ型製品に変える、窓を断熱にする、車を電気自動車にするなど、職場単位でできる脱炭素の取り組みはいろいろあります。ここでは県内の事例を紹介しながら、企業に役立つ認定制度や補助金制度をご紹介します。



省エネ診断の
詳細はこちら▶

▲毎月、全車両の燃費を集計したグラフを張り出すなど、多岐にわたる脱炭素に取り組んでいます。



省エネ診断の
詳細はこちら▶

省エネ対応のエアコンに切り替え、灯油使用量がマイナス65%に

丸上建設株式会社(奥州市)

県の「いわて脱炭素化経営企業等」や奥州市の「奥州工」事業所」認定を受けるなど、積極的に職場の脱炭素に取り組んでいる丸上建設株式会社。全車両の燃費を毎月集計してグラフにして張り出すなど、職場での意識啓発活動をはじめ、太陽光パネルの設置や照明のLED化など、省エネ・再エネ設備の導入を進めてきました。

2021年には省エネ診断を受診し、灯油ストーブが中心だった冬の暖房を省エネ対応のエアコンに切り替え、電気使用量は前年比プラス5%となったものの、灯油使用量はマイナス65%と大幅に削減し、光熱費全体のコストダウンにつながりました。皆さんの職場でも省エネ診断を受診して、脱炭素に取り組んでみましょう。

補助金で事務所の照明をLEDに!

事業者向け省エネルギー対策推進事業

事務所の照明を高性能なLEDや再エネ一体型の屋外照明に更新するなど、省エネルギー効果の高い設備導入に使える補助金があります。設備の更新は光熱費の削減にもつながります。ぜひご利用ください。

[補助対象者] 県内に拠点を有する中小企業者など
[補助額など] ◎補助上限額:最大50万円
◎補助率:1/2

詳しくはこちら▶

経営メリットがいろいろ!

いわて脱炭素化経営企業等認定制度

二酸化炭素排出を抑制する取り組みを積極的に行っている職場を、「いわて脱炭素化経営企業等」として認定しています。認定されると、県の補助金の上乗せのほか、社会的評価の向上につながるなど、さまざまなメリットがあります。皆さんの職場でも認定に挑戦してみましょう。

詳しくはこちら▶

ZEH(ゼッチ)で健康に、家計と環境にやさしい暮らしを!

省エネ性能が高く、光熱費が抑えられる住宅「ZEH(ゼッチ)※」は、経済的なだけでなく、ヒートショックを防ぐなど、住む人の健康づくりにもつながります。

既存住宅の省エネルギー改修工事をする場合に使える県の補助金「住まいの省エネルギー改修推進事業費補助金」や、省エネ住宅に関する講習会(2024年1月19日開催予定「ライフプランで考える省エネ住宅」講師:ファイナンシャルプランナー)もあります。リフォームや新築の際には、健康で快適な暮らしのために省エネルギー住宅について考えてみませんか。



※住まいの省エネルギー改修推進事業活用例

※ ZEH(ゼッチ):Net Zero Energy House(ネット ゼロ エネルギー ハウス)の略で、断熱・省エネルギー・創エネルギー(太陽光発電などで創るエネルギー)により、住宅の年間エネルギー消費量を実質ゼロにする住宅。

補助金の詳細はこちら▶

講習会の詳細はこちら▶